## 令和4年度第1回大阪府企業立地促進補助金審査会(府施策との整合性審査)概要

**日 時** 令和4年10月31日(月)13時30分から15時30分まで

場 所 大阪府咲洲庁舎 2 5 階会議室 (大阪府が指定する Web 会議室)

**案 件** 2件

審查委員 京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 教授 河瀬 元明(会長)

(敬称略) 左川中小企業診断士事務所 中小企業診断士 左川 睦子

追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授 藤原 直樹 武庫川女子大学 経営学部 経営学科 専任講師 山下 紗矢佳

## 【審査項目(6項目)】

- ・ 府内投資促進補助金 (産業集積促進地域における工場等)
  - 1 立地する事業所で実施する事業内容
  - (1) 雇用の拡充
  - (2) 生産性・効率性の向上度
  - 2 立地する事業所の機能・役割
  - 3 立地企業の経営基盤等
  - (1) 経営基盤
  - (2) 経営改善や人材育成等の取り組み状況
  - (3) 事業実績

## 【1】株式会社ハタノ製作所による事業計画に係る府施策との整合性審査

- (1) 事業概要
  - ○機械器具製造業の工場の立地
  - ○立地場所/敷地面積/延べ面積 和泉市あゆみ野/9,240.24 ㎡/9,152.98 ㎡
  - ○補助対象経費/補助金額 約 **14.7** 億円/**30,000,000** 円
- (2) 補助金の種別 … 府内投資促進補助金 (産業集積促進地域における工場等)
- (3) 審査結果:補助事業者として適当であると認定
  - ○審査方法
    - ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと
  - ○審查結果
    - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**25.5点(30点中)**であり、平均評価点が7割以上となった
  - ○委員の主な所見
    - ・新工場は、マザー工場として、研究開発力強化、生産能力拡大、労働環境改善に繋がることが期待できる。引き続き研究開発に取り組み、新しい商品を生み出して欲しい。生活様式の多様化による多品種化による在庫増については、自動倉庫とあわせて、より一層の効果が出るよう、在庫の数値データをしつかりと管理・分析して欲しい。人材についてはやりがい、働きがいに繋がるようなキャリアパスの明確化なども有効と考える。
    - ・収益性の高い事業を続けることで得た十分な資金を蓄えての新規投資計画である。新製品の開発を含む将来計画も堅実に考えられており、期待できる。府内での雇用の拡充、雇用環境の改善、人材育成策も整えられており、補助するに値する計画だと評価できる。
    - ・直接、最終消費者に訴える新商品・技術開発に積極的であり、内部留保も多く堅実な経営を行っていて評価できる。
    - ・これまでの堅実な経営実績や自社のコア・コンピタンスの活用を踏まえての取組であり、企業立地 促進補助金の性質から考えると模範的な事例といえる。

## 【2】株式会社ハンズトレーディングによる事業計画に係る府施策との整合性審査

- (1) 事業概要
  - ○清涼飲料製造業の工場の立地
  - ○立地場所/敷地面積/延べ面積 岸和田市磯上町/1,972.96 m²/1,217.05 m²
  - ○補助対象経費/補助金額 約 3.6 億円/30,000,000 円
- (2) 補助金の種別 … 府内投資促進補助金 (産業集積促進地域における工場等)
- (3) 審査結果:補助事業者として適当であると認定
  - ○審査方法
    - ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと
  - ○審查結果
    - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**21.5点(30点中)**であり、平均評価点が7割以上となった
  - ○委員の主な所見
    - ・食品という製品の性格上、流行に応じた迅速な商品開発上市が必要である。小規模であるがゆえ に迅速な対応が可能と思われる。新工場建設によって、これまで外部委託していた工程を内製化 することで、効率化とともに即応性の向上を期す計画となっている。市場動向によっては計画通り の発展が達成できない可能性もあるが、一定の雇用促進が見込まれる。
    - ・トレンド感のある商品にいち早く目をつけられており、市場の成長の可能性は期待できる。 申請書では意欲的な姿勢が強くみられるので、計画をいかに実行に移し、結果に結びつけるのかと いう点に期待したい。
    - ・これまでは、企画・販売を行っていたが、今回製造の内製化を行い自社の事業領域を拡大する取り組みで、キャッシュの外部流出を抑えられるため、経営基盤強化に繋がると考える。 反面、大規模生産に取り組むことは、生産技術、生産管理、人的管理面で、これまでと大きく異なる。 しっかりと自社で技術的なノウハウを蓄積し、生産技術者を育成すること、生産管理力を高めること に取り組んで欲しい。
    - ・計画の実現性が懸念されるところはあるが、成長している分野であり、府内において当制度が目的とする効果は一定あると判断する。